



熟議

では、異なる立場にあるもの同士が一つのテーブルにつき、「子どもたちの未来」や「地域の未来」をめぐる目標やビジョンを共有します。

初めて参加される方も、意見を出し合う中でお互いの立場や特性をわかり合い、その上で学び合い、力を出し合い、そして互いが変わっていく姿を身近に感じることができます。

自分の意見が他の人の意見と重なったり、変化したりして一つの「形」になっていく経験を通して、学校と地域が連携・協働で行う様々な活動に参加する方が増えてきています。

児童生徒が参画する熟議の実施上のポイント



参加者が、児童生徒と熟議することの必然性や有用感を感じられるような熟議のテーマ、構成を工夫しましょう。

◆ 児童生徒が参加することが目的ではありません。グランドデザインに基づいて、なぜその熟議に児童生徒を参加させるのか。何を学ばせたいのか。どんな力を身に付けさせたいのか。児童生徒を含む参加者全員が共有しておきたいですね。



児童生徒が思いや願い、アイデアをもって臨むようにしましょう。

◆ 児童生徒（指導する先生方も）がノープランで熟議に臨んでしまうと主体的な学びにはつながりません。事前に「熟慮し、自分なりの意見をもつことが大切です。熟議そのものからも大きな学びを得られますが、熟議に向けた学習、熟議を終えてからの学習も大事にしましょう。



児童生徒の意見を聞いて終わりではなく、児童生徒の思いや願いの具現化をめざす関係者の連携・協働につなげていきましょう。

◆ 児童生徒に自己有用感や達成感を味わわせるためにも、熟議の内容を実現に向かって取組を進めること、そのために本気になる関係者、大人たちの姿を見ることが重要です。

◆ 学校・地域連携がメニューに位置付けることにより、よりよい取組が持続的に推進されるような体制づくりにつなげていきましょう。

〔CS ハンドブック 令和 5 年 3 月 山口県教育委員会 抜粋〕

小田小学校 第2回学校運営協議会

児童と熟議「ともに学ぶ場づくり」～SDG'sの取組を通して～



SDG'sの17項目の中から児童が取り組むことができることを選び、委員さんからの意見を聞きながら自分たちができることは何かを多面的にとらえていました。これからの児童の取り組みがとても楽しみです。

柳井南小学校 第2回学校運営協議会

児童と熟議「子どもと地域で考えるこれからの学び」



地域課題を解決するために自分たちが取り組む上で「どんな学びが大切なのか」「どんな学力が必要なのか」を委員の方の意見も聞きながら考えて発表していました。学校としての学び方を委員の方が知ることができた熟議となりました。

伊陸小学校 体育館落成「わくわく集会」



初めに体育館落成テープカット。地域の方と楽しくじゃんけん列車。みんなすてきな笑顔で集合写真を撮りました。

柳井中学校 ライゴンスクール



数学科を中心に希望者が参加する学習会です。20名近い生徒が参加して積極的にボランティアの方に教えてもらう姿が見られました。